

CASBEE® - 建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.2.0)

| 1-1 建物概要 | | 1-2 外観 | |
|----------|-----------------------|--------|-----------------|
| 建物名称 | 福岡大学体育館施設(仮称)新築工 | 階数 | 地上4F |
| 建設地 | 福岡市城南区西片江1丁目116-1他 | 構造 | RC造 |
| 用途地域 | 第一種中高層住居専用地域、第二 | 平均居住人員 | 350 人 |
| 気候区分 | 7地域 | 年間使用時間 | 3,650 時間/年 |
| 建物用途 | 学校、 | 評価の段階 | 実施設計段階評価 |
| 竣工年 | 2017年2月 予定 | 評価の実施日 | 2015年9月30日 |
| 敷地面積 | 52,719 m ² | 作成者 | 株式会社 教育施設研究所 福岡 |
| 建築面積 | 4,738 m ² | 確認日 | 2015年9月30日 |
| 延床面積 | 11,064 m ² | 確認者 | |



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

= BEE1.6

★:S:★★★★★ A:★★★★★ B+:★★★★ B:★★★ C

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算
①参照値 100%
②建築物の取組み 93%
③上記+②以外の 93%
④上記+ 93%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 3.2

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.3

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.8

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.4

LR 環境負荷低減性

LRのスコア = 3.6

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.9

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.7

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.3

| 3 設計上の配慮事項 | | |
|--------------|---|--|
| 総合 | 福岡大学キャンパスのスポーツゾーンの核施設として、学生の保健体育や専門スポーツの授業、課外活動、職員の福利厚生や各種スポーツ大会の開催など地域や社会に貢献し、スポーツ活動を通じた国際交流の場が図れる計画とした。 | その他 0 |
| Q1 室内環境 | 空調を行う室のガラスはLOW-eガラスとし、熱負荷を抑え、内装材に化学汚染物質を使用せず、室内環境の向上を図った。 | Q3 室外環境(敷地内) 建物前面に自然樹形の高木を配置し、まちなみや景観に配置した。 |
| LR1 エネルギー | 効果的な負荷抑制と省エネルギー機器の採用によるエネルギー消費の抑制を行っている。 屋根全般に遮熱塗装を行い、日射による輻射熱の低減を図った。 | LR3 敷地外環境 屋上機器の目隠しルーバーによる景観配慮や外観色彩の統一を図った。 |
| Q2 サービス性能 | 福岡市まちづくり条例に準拠し、バリアフリーな建物とした。 維持管理に配慮した設計として、防汚性の高い塗装や効果的な水切等による外壁汚れの防止、また外部に露出す | |
| LR2 資源・マテリアル | トイレ洗浄水に「井水」を利用し、また節水型器具を選定することにより、節水を図った。 | |

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される